

# 考える力 強打者の原点

1986年、夏の甲子園。“超高校級”と形容された強打・浦和学院打線で4番に座り、チームを初出場でベスト4に導いたのが、のちにプロ野球の西武（現埼玉西武）とヤクルトで活躍した鈴木健さん＝現野球解説者だ。越谷市出身、地元・埼玉が生んだスター選手は、どうにして左のスラッシュが一歩成長していったのか。その原点は高校時代の3年間についた。（石井大輔）

（第3種郵便物認可）



知れ渡ったのは、2年生の夏だった。埼玉大会の初戦、吹上との回戦で1イニング2本塁打を記録し、記念すべき初勝利（10試合目）となつた東京（大阪）と甲子園初アーチを描いた。2年生初出場でベスト4の立役者。

まいが印象的だったが、当時を

野球解説者 高出 鈴木 健さん

2

く無我夢中でやっていたので、因縁にて「鈴木健」というあまり記憶に残ってないですね」と意外な答えが返ってきた。3年次にも甲子園に出場し、1988年にドラフト1位で西武に入団した鈴木さん。3年にはヤクルトに移籍し、プロ19年間で1446安打、189本塁打。ベストナインも西武、ナカルトで一度ずつ獲得した。①基盤の3年間

名将と評される野本監督は積

プロで19年間プレーしてきた要

煙的にアドバイスするタイプで

本章一郎監督だ。

3年次にも甲子園に出場し、

1988年にドラフト1位で西

武に入団した鈴木さん。200

3年にはヤクルトに移籍し、プロ19年間で1446安打、189本塁打。ベストナインも西武、ナカルトで一度ずつ獲得した。日頃の開会式当日に遊んだ野

本章一郎監督だ。

3年次にも甲子園に出場し、

1988年にドラフト1位で西

武に入団した